

学科 学年	E 1	科目 分類	保健体育 Physical Education	実技 必修	H19 前期+ 集中 2履修 単位	学習教育 目標 E	担当	佐藤 誠 SATO Makoto
概 要	生涯にわたるスポーツライフを営んでいく上で、新しい運動を自分で習得したり、集団で運動を楽しむということは重要なファクターとなる。本授業においては、運動技術の身体化という問題をゴルフを教材として取り上げ、課題運動の習得・習熟をしていく中で理解していく。また、サッカーの授業を用いて、スポーツにおける戦術を学習していくにより、集団で運動を楽しむ方法を理解していく。また、運動実施上の安全に関する知識を学習する。							
科目目標 (到達目標)	ゴルフでは、基本的なスイングを習得し、一定の距離にある程度ボールをコントロールできるようにする。また、ラウンドするために必要な知識を理解する。サッカーでは、基本的な技能を中心としたゲームにより戦術に関する理解を深める。							
教科書・器材等	テキストは特に使用しないが、必要に応じて資料を配付する。							
評価の基準と 方法	実技試験の成績（到達度）を60%、授業への参加率、参加態度、仲間との協力状況を40%として評価する。60点以上を合格とする。							
関連科目								
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回	×	ガイダンス						
第2回		ゴルフ	1. ゴルフのルールと基本用語					
第3回			2. グリップとスイングフォーム					
第4回			3. アプローチとスイング幅					
第5回			4. 目標をねらったアプローチの練習					
第6回			5. ハーフショットとスイング幅					
第7回			6. 目標をねらったハーフショットの練習					
第8回			7. フルショットの練習					
第9回			8. ラウンド練習					
第10回			9. ラウンド練習					
第11回	×		10. 実技試験					
第12回	×		11. 実技試験					
第13回		スポーツライフにおける安全の確保	1					
第14回		スポーツライフにおける安全の確保	2					
第15回		スポーツライフにおける安全の確保	3					
第16回		* 16回～30回の後期分は集中授業にて行う。						
第17回		この集中授業では、リフティング、パス、シュートなどのボールコントロールやミニゲームなどを通じたサッカーの基本的戦術が学習される。						
第18回								
第19回								
第20回								
第21回								
第22回								
第23回								
第24回								
第25回								
第26回								
第27回								
第28回								
第29回								
第30回								
オフィスアワー	放課後に、質問等に対応することができる。							
授業アンケートへの対応	授業内容の改善をすることにより対応する。							
備考								
更新履歴	070131 新規							